

## 作業部会（H240122）の意見整理表

発言者	意見・質問	回答
木村委員	これまで協議会を三回やってきて、委員間での意見交換が出来ていないと感じたことから、今回の場を提案した。出てきたものに対して意見を言ってきたが、それぞれに思いはバラバラにあることが分かった。それをすり合わせたい。特に気にかかっているのは「人に好かれる、来てほしい」というコンセプトについて、イメージするものは人によって違う。クリーンセンターであることを念頭に、どういう形で来てほしいのかを話し合っても良いかと思った。気軽に立ち寄れるように、人が来るようにという趣旨で祭りをやった時など、不法投棄などが多くなったりする問題もある。周辺住民としては、その辺も考えて、ただただ人が来るという所から、突き詰めて考えていってほしい。	作業部会の主旨説明
村井委員	行政が考えている「オープンな施設」のイメージはあるのか。今と同じような状態なのか、フリーに来られるものなのか。	工場部分の安全を確保した上で、見学者通路は自由に入れるようにしたい。しかし、夜間に自由に入れるようにするつもりはない。エコプラザは工場と分けて、自由に入れるようにしても良い。
木村委員	広島の中工場のように、昼間には受付も無く出入り自由とするつもりなのか。	そういう形で考えている。ただし、防犯カメラや事業者による見回りなどのセキュリティは考えている。
越智委員	「建って良かったクリーンセンター」というコンセプトを目指したい訳だが、これまで武蔵野市全体で考えよう、ここにあることを分かってほしいと考えて様々な事をやってきたが、武蔵野市役所の目の前にあるということについての認知度は非常に低い。それを払しょくするためには、オープンに入れることが必要である。フラットにこだわったのも、人が流れてくるようにしたいからである。さらに、次のステップとしては、その人が商店街にまで流れていくようにしたい。開放的に、お金がかかるという話であり、税金を使うからには説明責任を果たす必要があるが、かつて土地を別の用途として非常に安く手に入れたことから、その分をまちづくりに使っても良いのではないだろうか。	東側スペースをフラット化し、コミュニティスペースとすることプラス、開放的な施設づくりを目指す。
新垣委員	クリーンセンターのイベント利用としては、フリーマーケットで入ってくる市民の皆様は、ごみを減らすことについてPRしている。また、この施設の一部を借りて、お茶碗のリサイクルをするための保管をしている。問題は、クリーンセンターに人が集まってきて、ごみと市民がどのように関わっていくかという事を促すためには、環境を含めてここで学んでもらうことが必要であり、職員が市民に対して学習を交えた活動を促すことが必要である。エコプラザで環境教育を行い、昼間はエコセンターも利用しながら、オープンな通路などを環境に関わる掲示であるとか、子供たちの環境に関わる絵を掲げるだとかいう形にして、市民が学べるようにすれば、単なるたまり場ではないと	「昼間はエコセンターも利用しながら、オープンな通路などを環境に関わる掲示であるとか、子供たちの環境に関わる絵を掲げるだとかいう形にして、市民が学べるようにする」ことについては、エコプラザ（仮称）の検討の中で行う。

	思う。北側の解放感を作って、テラスから野球場などを眺められるようにすると、さらに人が集まって良い。	
村井委員	環境啓発の面で行政から補足は、	エコプラザはこれから皆さんの議論によって決めていくところである。すぐに運営がうまくいく訳ではないだろうが、その準備としての環境講座は非常にうまくいっている。最初は人数が集まらなかったが、今では定員オーバーになってきている。
塩澤委員	藤村学園の壁面に路上駐輪が多かったが、壁面に生徒が絵を描くようになったら路上駐輪が無くなった。また、パークタウンの建替えの時には絵タイルをはめ込んだ。要求水準書に、そのようなものを入れることが出来ないか。人がたむろする場所になるかもしれないという懸念は分かる。今日は無理にまとめず、そういった懸念をきちんと話す場になればと思う。しかし、その時に大事だと思うのは、小澤先生が言った通り、これまでの議論を大事にして欲しいということである。今回の3回だけではなく、昨年度までの議論を大事にするということである。第一期の協議会では、ごみを燃やす場所であるクリーンセンターで、あえて低炭素社会を目指すということ、それを地域力によって行うこと、そして環境に関するリーディングエリアとなるようなまちづくりを行うということを提唱した。役所は事業者に巡回させるとかいうような事を言うのだろうが、せっかく市民が集まっているのだから、地域力で何とか解決することを、事業者がやるべきことを一緒に考えるべきかと思う。まちづくり検討委員会では、ごみを減らすことと、次世代にはここに焼却施設を建替えなくて良いようにして、地域にとって役に立つものだけが残るようにしたいという議論が積み上げられた。デザインに関しては、言いたいことは言ってきたので、あとは細かいことになっていく。新垣委員が言うように、北側の解放感は大事だと思っている。たとえばデッキが途中で途切れているが、西側までつなげるだとか、壁面を工夫するとか、北側に窓を増やすとか、そういう工夫が必要かと思う。	・今までの協議会の議論を踏まえ、建築デザインコンセプトをつくり上げてきた。  ・セキュリティについては、事業者の巡回をしながら、地域力として、クリーンセンターでも市民ガイドを行うなどといった方法もあるかと思う。環境フェスタで、運営協議会さんに施設見学のお手伝いをいただいた。 ・すべての面が“オモテ”になるデザインとして、すべての面をテラコッタルーバーで仕上げる。また、北側デッキはさらに延長し、夜間は2階デッキのラインをライトアップさせるなど、工場のイメージを払しょくする、やわらかく、“やさしい”デザインに仕上げる。
平田委員	一丁目から三丁目まで緑町があるが、全体のまちづくりをしようという事で集まっている。これからイベント広場のことも出てくるが、その中で緑町コミセンも関わってくる。すぐにコミセンの建替えという話にならないが、緑町コミセンには広場がなく、東側に近接しているテニスコートから少しスペースを取って広場にしたり、クリーンセンターの広場に通じてイベントなどをしやすいような形を考えられればと思う。コミセンでも色んな意見があり、アンケートも取っているのだから、緑町全体の意見として良いなと思えるような計画、まちづくりになれば良いなと思う。	協議会の期間を1年半強取ってエコセンター側から順番にやらせてもらっている。そういう意味で、エコプラザやエリア整備についてお待たせしてしまっている。出来れば4月以降に皆さんと進め方の議論から始めたい。コミセンとクリーンセンターをどのようにつなげるかという事も非常に重要なキーワードだと思うので、それを頭に入れながら話を進めたい。

山崎委員	今回はデザインのことなので、あまり意見がない。いつコミセンの事を言えるのかが分からない。北側を大切にしてほしいと思っているが、それについてはみんなが言ってくれている。緑町コミセンとイベント広場がつながればと思うが、どのようにすべきかがまだ浮かばないので話しづらい。コミセンの運営委員会では、エレベーターが欲しいだとか、クリーンセンターに関わらない話ばかりが出る。	
山崎委員	今の緑町コミセンの調理場ではエコクッキングをしても食べる場所が無い。そこで、エコプラザと共有して行っていければと思う。	エコプラザ(仮称)の3階食堂を活用することは可能と考える。
藻谷委員	建物的に解放感があることは良いと思う。広島中工場は誰でも入れて工場の中は見られるが、事務所は完全にコンクリートで囲まれていて人が見えなかった。北側のデッキから、少しでも機械部分が見えて興味を引き立てるようなものにして欲しい。建替えて、これまでと違った感じのものが出来れば、野球場に来た人や、通りがかった人や、口コミなどで人が来ることを期待している。	テラコッタルーバーのやわらかく、“やさしい”デザインと“人の姿を感じる”デザインをコンセプトとする。
高石委員	ごみ減量には生ごみが大事であり、ごみ処理の基本は運送を少なくすることであり、生ごみ処理についてもクリーンセンターでやった方が良い。クリーンセンターであれば、臭いの処理なども簡単である。 エコプラザは夢であり、これから環境問題やCO <sub>2</sub> は、学校教育で必修になっていくと思う。そういったことをエコプラザで伝えていけるようにしたら良いでは。物をごみにしないためには、自転車や自動車のシェアリングであり、自転車を修理する場にするなどして、拠点としては。	ごみピットの活用は難しい。 生ごみ処理は時間をかけて検討する課題。  今後のエコプラザ(仮称)の検討
園田委員	この協議会に来て、委員の平均年齢が高いことにびっくりした。30代の主婦の意見なども反映しなければならぬのでは。また、意見について「バラバラでいいじゃない」で終わってしまったら、いつもと変わらない。今回は、そういったバラバラなものを集約していくための場なのではないか。	(木村委員)皆さんが色々な団体の代表であるので、年代が高くなってきてしまう。また、無理に一致させるのは難しい。しかし、意見を聞いていることで少しずつすり合わせることも出来ると思うので、今回まとめるまでは行かないのは仕方ないかと思う。
興侶委員	色々な所と交渉しているため、意見を集約していくことに慣れている。そのように、集約していく作業が見えないと戸惑う。藻谷委員より伺ったのだが、緑で隠されているのではなく、緑の間から野球場を通してクリーンセンターや市役所が見えて、街がつながっているように考えたいとのこと、これは大事な意見だと思う。中央通り側がフラットになったことによって、桜まつりなどでも余裕のあるスペース設定が出来、街に面的な広がりが出るし、人の流れができる。	・すべての面が“オモテ”になるデザインとして、すべての面をテラコッタルーバーで仕上げる。やわらかく、“やさしい”デザインに仕上げる。  ・東側スペースをフラット化し、コミュニティスペースとすることプラス、開放的な施設づくりを目指す。
村井委員	プラットホームの前の広場は、どれくらいの幅になるか。	幅15mくらいである。

越智委員	明り取りなども今の潜水艦のような工場的明り取りではなく、お金はかかるが、屋上から鏡やファイバースコープなどを使ってはどうか。また、イベントスペースには車が乗れるように出来るか。	車について、荷重的には可能でも防水の関係で困難である。明り取りの代わりに、施設東側壁面に窓を作ることで、プラトホームの様子が広場から見られるようになる工夫を考えている。
興杵委員	施設東側壁面の窓と窓の間に絵タイルを入れると良い。	絵タイルはエコプラザ(仮称)の中で検討。
藻谷委員	41号線の常緑樹によってクリーンセンターの北側が良くなっても閉ざされてしまう。市役所の明かりが見えることで、親近感が湧く。親しみのある建物にしたい訳であるから、建物を隠したくない。すっきりと建物が見えて、ちょっとしたポイントとして樹木があるという形で良いのではないか。夜になってもどこかで働いている人の明かりが見えることが良いのではないか。バスを通る人の目にも触れるものであってほしい。	さらに延長した野球場が見えるデッキ、イベント広場から通り抜ける遊歩道、東側階段室、西側事務所棟のカーテンウォールから人の姿が感じられることができる。夜間は2階デッキのラインがライトアップされる。 * 絵タイルはエコプラザ(仮称)の中で検討。
塩澤委員	北側の壁にあるデッキを途中までになっているが、西側まで行って欲しい。それが出来ないなら、その線上に窓があつて明かりが見えるなどにならないか。	
村井委員	フェイクの窓はどうかと思うが、展示をする窓であれば良いのではないか。または、絵タイルなども良いのでは。	
興杵委員	柱を立てるのが大変なのはわかるが、建物からキャンチでくっつけた通路が建物の周りを全部回る形ではないか。	機械室がすでにはねだしているため、プラスしてデッキをはねだすのは構造的に難しい。
早川委員	現施設の建設時に議論したこと内容が違って来たと思う。かつて、クリーンセンター建設に際しては焼却炉があると分からないものにしたという発想であった。焼却炉とは分からないが、素晴らしい建物と思って人に来てほしいという発想になってきている。ここは焼却炉があるのだと分かるものにした方が良いのか。私は、「良い建物だ、来てみたいな」と思う施設にして欲しい。	当初から、小澤会長はクリーンセンターの存在意義を重要視していた。クリーンセンターがごみ処理施設であると思わせる、まちに調和したものを考えた。
越智委員	たむろされないような施設という発想は分かる。しかし、人が集まって街の活性化につながるような施設にしたい。	集まるということの質と防犯上の対策とバランスを取る。
木村委員	集まるということに質を考えたい。	
越智委員	入口のポジションというものが、街の活性化に影響する。かつて、プールの券売所が現在の交番の位置にあった時には、蕎麦屋やたばこ屋は儲かっていた。	ごみ処理施設から環境啓発を持たせることで活性化させる。
木村委員	ここじゃないと出来ない環境に関する情報発信という観点から、人の集まるという事が考えられれば良い。	
村井委員	クリーンセンターに一番見学に来るのは教育関係者。学校の先生に話を聞くことや、子供たちの意見を聴くことも良いかもしれない。	環境啓発の推進を図る。環境講座、学校での環境学習の取り組みをスタートさせている。
新垣委員	前に協議会とのつながりもあるが、ごみ減量が大事にされてきた。特に、生ごみをどのように減らしていくかが、29年度に新施設を開設できるか	庁内のプロジェクトチームで、生ごみを自分の家でたい肥化して、それを家庭菜園につなげるという形の環境教育を小学生に対して来年度から始めるこ

	を左右する。生ごみをたい肥化したとしても、二次処理をしなければならない。農家に使ってもらっても良いし、市民農園で使ってもらっても良い。他市連携で考えると言っていたが、調布と府中の担当者が変わったら頓挫したと聞いている。やはり、市内で地域分散の中で考えなければならない。クリーンセンターに生ごみを持ち込まないということを市民につなげていくために、ここから発信していかなければならない。	とにしている。
塩澤委員	「劇団どくんどく」という、テントを立てて全国で演劇を行っている劇団がある。今後イベント広場が出来た時に、その活用のイメージを掴むために、この劇団を呼んでみてはどうだろうか。テントという事で、劇場でクローズしていない面白さがある。地域との関わりが必ずある劇団である。去年は井の頭公園でやっていた。	(木村委員)クリーンセンター運営協議会の立場から言って、出来ればやめてほしい。
狩野委員	<p>【同感】新施設の東側スペースが、先月の協議会での議論を反映して、“緑の土手案”が取り止められて“傾斜緑地”方式の創造と景観を演出する方向性に転換されたことにつき、多くの委員より賛意が表され、筆者も全く同感である。また木村委員から“この東側スペースの(目障りな)土手が無くなることにより、市役所前に至る目線が確保されて、非常に見栄えの良い演出が可能となる”との発言があったことも預かって、先月からさ更に、周辺設備のあり方の認識が1段と高いレベルに踏み込んだ、と歓迎したい。</p> <p>【東側の建築デザイン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東側スペースは、中央通りからの視線で一番目立つ場所なのだが、このスペースの奥に創設される建築物の側面、即ち“東側建築デザイン”のあり方が、仮称、エコセンターのデザインの首尾・不首尾を左右する重要な位置を占めると思われる。</li> <li>・事務局より提案された“落ち着いたレンガ調タイル、テラコッタ等で仕上げる”A案と、“白を基調とし、塗り壁(大判タイル)、石張りで仕上げる”B案が披露されたが、先月・今月の本協議会で、ちらほらと耳にしたと耳にした“レンガ調の落ち着いた色使い”への郷愁と言うか、茶系統の色調をメインに色や材料の違いに拠るコントラストやアクセントを付して形を際立てる趣向も、個人的には捨て難い。</li> <li>・東側の建築デザインを固めて、その主眼を南・西側のデザインへ展開して統一感も確保する。一方、北側のデザインは、地元の見線をも意識した柔らかな側面とするような応用編を期待したい。</li> </ul> <p>【四角か曲線か】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どちらかと言えば、“四角・直線”をもってデザインすべき、と思う。その理由は、ネガティブな発想だが、デザインの主張性にある。曲線・曲面にど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東面フラット化したことで、中央通り側からの見通しを確保。</li> <li>・テラコッタルーバーで仕上げる中、ルーバーの色のトーンを変え、グラデーションをつける。</li> <li>・すべての面が“オモテ”になるデザインとして、すべての面をテラコッタルーバーで仕上げる。</li> <li>・四角い構造を利用しながら、テラコッタルーバーで仕上げ、コーナー部にまるみをつける。工場のイメージを払しょくする、やわらかく、“やさしい”デザイ</li> </ul>

<p>のような主張を込めるのか、解釈が色々生ずるようなものか、あるいは明確な主張を盛り込むのか。いずれも多くの人びとの歡心と共感を得られるかの懸念であり、またコストアップも望ましくないと思うので、曲面化でコンパクトに一定容積を確保できるメリットは想定されるけれど、曲線・曲面化には危険な予感もする。</p> <p>【同感その2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芝生広場に象徴的な高木を植える、という木村委員の意見は、実体験に裏打ちされていて傾聴に値する。“市の木”的な発想を廃して、広く樹種を募ることも有りではなからうか。</li> <li>・直線にしる、曲線にしる、建築デザインの素材の適否は、新施設の命運を左右する重大事なので、メンテナンス面をも考慮した選択が必要との多くの意見に賛同する。</li> <li>・今回、議論は少なかったが、バラ園の移設に関して、新施設のみならず市役所・体育館等を利用する市民・住民に楽しんでもらえる存在として、岡田委員の提案も考慮の対象として村井委員の“市役所横の池をつぶそう論”と並んで“何処へ移すか”を比較検討したい。</li> </ul> <p>【反対】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・越智委員の“歩道橋で新施設・体育館・市役所等の周辺施設を連結する”との主旨の意見には、多くの委員に並び、賛同できない。“景觀”一つとっても、大いに損なう代物であり、サクラの名所が泣く。冷静に判断しても、歩道橋の利用性は、現在社会の安全・安心の意識の向上の観点からの逸脱するし、建設費用もまた然り。当該交差点を“スクランブル化”して、歩行者の横断を少々長めに設定すること等、により各施設間の人の行き来は、安全に十分確保できると考える。</li> </ul>	<p>ンに仕上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パークタウンの広場同様、芝生広場の周囲に高木を配置するなどの緑化計画を検討。</li> <li>・メンテナンス面をも考慮した仕上げ方法、清掃方法を検討する。</li> <li>・現在のバラは老木であり、今のバラ園をいったん閉園とし、バラを市民に配布する予定。新クリーンセンター完成時に、新たなバラ園を設置する。</li> <li>・建築基準法、原則道路上に構造物は建設できない。許可申請によって可能性はあるが、必然性が必要であり、設置は難しいと考える。以上のことから道路横断の回廊は計画しない。</li> </ul>
---	---